

# アイザワ週報

第 2491 号 2022 年 11 月 28 日 審査番号・221121-B1

## 目次

[今週号は 2022 年 11 月 18 日時点の情報を基に作成しています]

マクロ経済コラム：物価について	1
日本株銘柄情報：SHIFT(3697)	2
日本株銘柄情報：VALUENEX(4422)	3

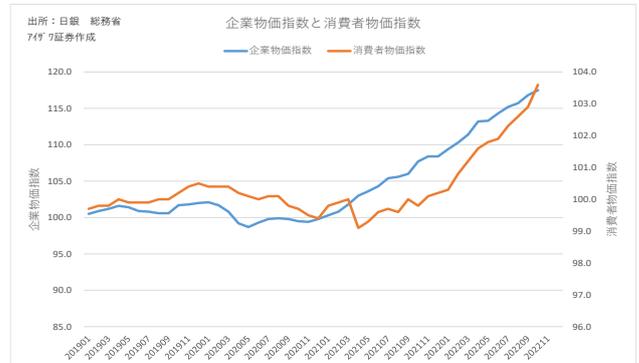
## 物価について

笹木 義次

原油価格や商品市況など川上の物価が 2022 年 5 月近辺をピークに下落しています。日本の輸入物価指数(契約通貨建て)は比較的原油価格と連動しています。その原油価格が下落に転じたことで、10 月の日本の輸入物価指数(契約通貨建て)前月比で 1.92%のマイナスとなるなどこれまでの上昇ペースが一服となっています。

日本の企業物価指数は、輸入物価指数と比較的連動しています。特に、ここ直近では円建ての輸入物価指数に連動するようにして上昇しています。契約通貨ベースの輸入物価指数が上昇一服となっていることから、企業物価指数の上昇は主に為替の円安によるものと考えられます。

為替の円安進行が一服すれば、円建ての輸入物価指数の上昇も鈍化し、企業物価指数に反映される状況になりつつあります。企業物価指数の動きはいずれ消費者物価指数に反映されます。為替の円安の進行の一服という条件が必要ですが、消費者物価指数の上昇率が鈍化する事を想定する必要があると筆者は考えています。



## SHIFT (3697)

笹木 義次

## 株価指標

株価 (2022/11/18)	27,140.0 円
売買単位	100株
市場	東証プライム
時価総額	4,834 億円

## 事業内容

SHIFT は、ソフトウェアのテストサービス等の品質保証サービスを提供しています。また、テストサービスに加えて、顧客企業の課題解決に役立つ各種ソリューションサービスも提供しています。

SHIFT 単体の 2022 年 8 月期の品質テストサービスの売上高の構成比は 69% でした。2021 年 8 月期の構成比の 75.4% から低下しました。品質テストの売上構成比が低下し、品質テストサービス以外の各種ソリューションサービスの売上高が成長し売上高構成比を高めています。SHIFT はソフトウェアの品質テストサービスだけでなく、各種ソリューションサービスの拡販につなげている事がわかります。

## 2022 年 8 月期業績実績

SHIFT の 2022 年 8 月期の業績は、売上高が 648 億 73 百万円と前年比で 41.0% の増収に、営業利益は 69 億 13 百万円と前年比で 73.1% の増益となりました。売上高の増収効果と売上総利益率の改善で費用の増加を吸収して、営業利益は増益となりました。

売上高はエンジニア人員数の増加とエンジニア単価の上昇で増収となりました。エンジニアの人員数の増加は積極的に採用を行ったからです。単価の上昇は高単価のハイスキル人材の採用が増加しているからです。総利益率の改善は SHIFT 単体が行っているテス

## &lt;業績の推移&gt;

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2021/8	46,004	3,994	4,736	2,818	162.7	0.0
2022/8	64,873	6,913	7,552	4,974	282.8	0.0
2023/8計	87,000	9,400	9,500	6,300	357.5	0.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

## &lt;投資指標&gt;

連結	
今期予想PER	75.9 倍
PBR	18.66 倍
予想配当利回り	0.00 %

ト案件とグループ会社が行っている開発案件等の売上総利益率が改善したからです。費用の増加は、人件費と採用費の増加によります。

## 2023 年 8 月期業績計画

SHIFT では 2023 年 8 月期の業績は、売上高が 870 億円と前年比で 34.1% の増収を、営業利益は 94 億円と前年比で 36.0% の増益を計画しています。採用は 2500 人から 3000 人程度を目論んでいます。

筆者は、SHIFT の 2023 年 8 月期の業績は、売上高が 894 億円と前年比で 37.8% の増収を、営業利益は 98 億円と前年比で 41.8% の増益を予測しています。前提としては、採用数は 2500 人を、離職率は 7% 程度、エンジニア 1 人当たり単価を 80 万円/月としています。売上総利益率は 33% に、販管費率は 22% としています。

品質テストサービスを中止に各種ソリューションサービスの拡販につなげている事、再投資と売上高成長が好循環となっている事などを筆者としては評価しています。

3697 00 SHIFT 東証 21/5/10~22/11/14  
日付:22/11/18 高:27020 低:227810 安:26880 現値:27140 -110 出来高:374.3  
MC:1000定:増純移動平均[13]-----[26]-----MA13:21834.82 MA26:20318.08  
SI:出来高[13]-----[26]-----V:2290.9 MA13:1441.892 MA26:1688.899



(C) RUIICK Corp. All rights reserved.

出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

# VALUENEX (4422)

笹木 義次

## 株価指標

株価 (2022/11/18) 1,753.0 円  
 売買単位 100株  
 市場 東証グロース  
 時価総額 51 億円

## 事業内容

VALUENEX は、独自に開発したアルゴリズムによるビッグデータの俯瞰解析ツール VALUENEX Radar の提供と解析ツールを使ったコンサルティングを企業等に提供しています。

## 俯瞰解析ツールの特徴

俯瞰解析ツールの特徴は、VALUENEX が独自に開発したアルゴリズムにより、大量の文書データ間の類似性を計算し、可視化する事です。解析結果は、1枚の俯瞰図として示されます。俯瞰図で示された距離、密度、分布、空白、から様々な洞察を得る事が可能となります。

## 2022年7月期業績実績

VALUENEX の 2022 年 7 月期の業績は、売上高が 6 億 53 百万円と前年比で 38.0%の増収になりました。営業利益は 40 百万円と前期 2021 年 7 月期の 1 億 81 百万円の営業損失から収益化しました。売上高の増収効果と費用の削減で、営業利益は収益化しました。売上高の増収は、主にコンサルティングサービスの売上高の増収が寄与しました。費用の削減は主に人件費の削減によります。

## インサイトカフェ

VALUENEX のアメリカの子会社は、2021 年 9 月にアメリカのシリコンバレーでインサイトカフェを開設しました。シリコンバレーで

## <業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2021/7	473	-181	-166	-175	-62.1	0.0
2022/7	653	40	52	33	11.8	0.0
2023/7計	NA	NA	NA	NA	NA	0.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。  
 (注意) 2023年7月期の業績計画は非開示です。

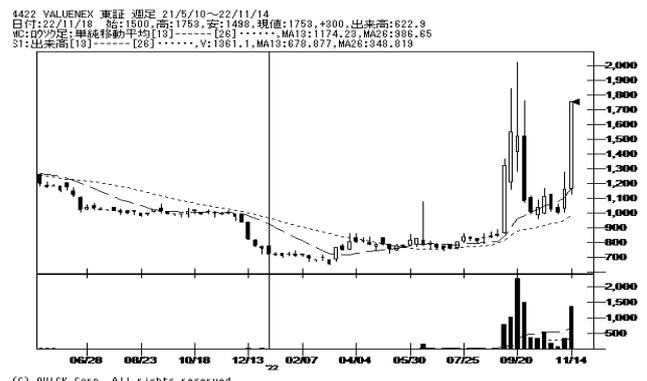
## <投資指標>

連結		
今期予想PER	NA	倍
PBR	6.78	倍
予想配当利回り	0.00	%

様々な企業や人材の交流の場を提供するものです。開設からほぼ 1 年が経過し、各種プロジェクト案件や新しい顧客企業との接点をもたらす機会を提供してくれる場として機能しています。VALUENEX のアメリカでの活動の目的は、ネットワークの構築とブランディングの強化ですが、インサイトカフェは着実にその目的に見合った成果を上げています。アメリカにおけるネットワークの構築やブランディングの強化は短期的な業績に結び付きませんが、VALUENEX の中期的な企業価値の向上に繋がると見えています。

## 2023年7月期業績予測

筆者は VALUENEX の 2023 年 7 月期の業績は、売上高が 7 億 30 百万円と前年比で 11.8%の増収を、営業利益は 90 百万円と前年比で 2.3 倍の増益になると予測しています。供給能力の向上で、需要を取り込む事が可能となった事から、増収増益を見込んでいます。最適な意思決定を行うために VALUENEX が提供している俯瞰解析ツールに対する需要は増加する事を筆者としては期待しています。



出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

## 金融商品取引法に基づく表示事項

### ■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

### 株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

### お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

### 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント  
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報  
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa